



2021年2月12日

各 位

会社名 株式会社 T A T E R U  
代表者名 代表取締役 CEO 古木 大咲  
(コード番号: 1435 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 CFO 安井 慎二  
(TEL. 03-6447-0651)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年12月期につきまして、2020年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2020年12月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,962	百万円 △971	百万円 △1,111	百万円 △1,256	円 銭 △13.94
今回実績 (B)	6,147	△664	△694	△1,007	△11.14
増減額 (B-A)	185	307	417	249	
増減率 (%)	3.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	18,828	△9,671	△10,122	△14,536	△163.11

(2) 業績予想と実績値との差異の理由

当事業年度は、フロービジネスからストックビジネスへの収益構造の転換が順調に進捗するとともに、AI・IoT事業の強化に取り組んだ結果、売上高が業績予想を上回りました。また、財務体質の改善のため販売費及び一般管理費のコスト削減を進めてまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を主要因とする業績動向等を踏まえ、簿価に比べて実質価額が著しく下落している投資有価証券について、減損処理による投資有価証券評価損 292 百万円を特別損失として計上いたしました。

上記の結果、売上高は 6,147 百万円 (前回予想比 185 百万円増)、営業損失は 664 百万円 (同 307 百万円減)、経常損失は 694 百万円 (同 417 百万円減)、親会社株式に帰属する当期純損失は 1,007 百万円 (同 249 百万円減) と前回発表予想を上回る結果となりました。

以上